
あかつき証券(株) 2022年3月期 第1四半期 決算説明

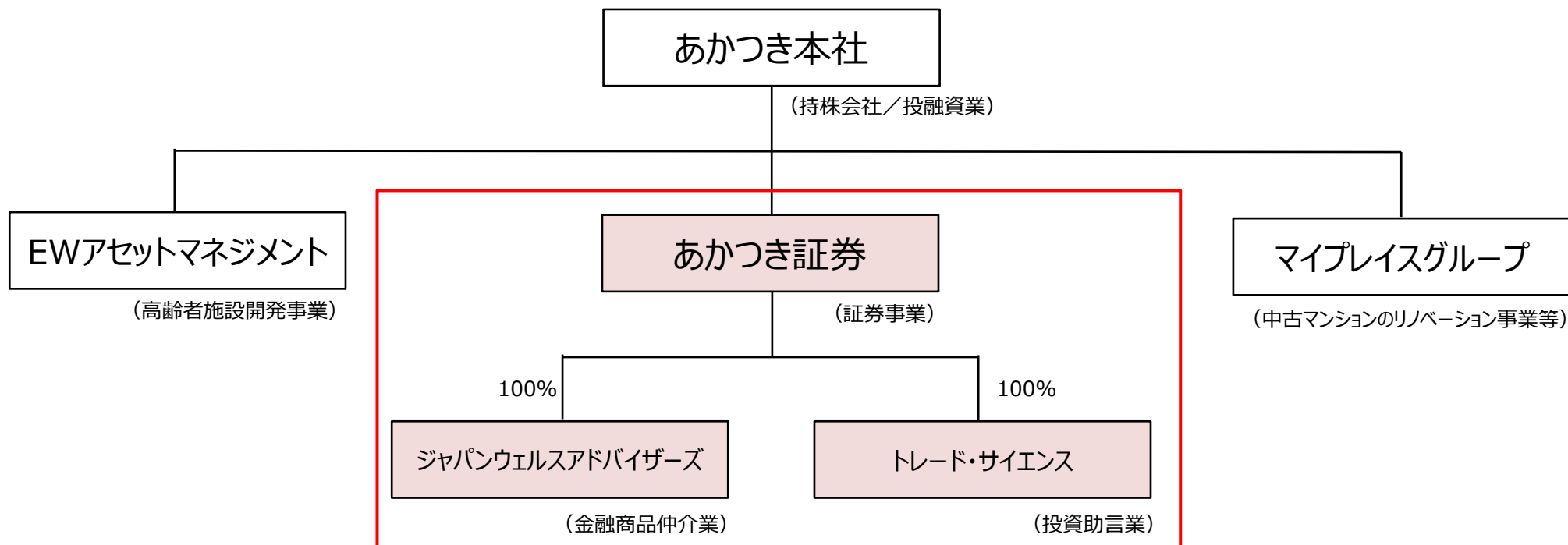
本資料は、2022年3月期第1四半期決算の業績等に関する情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は2021年6月末日現在のデータに基づいて作成されております。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

1. 2022年3月期 第1四半期 決算概要

◆ (参考) 連結対象について

■ あかつき本社グループ構成図 (2021年6月末現在、主要グループ会社のみ記載)



あかつき証券連結範囲

- ✓ 2020年3月に当社100%子会社「ジャパンウェルスアドバイザーズ株式会社」が金融商品仲介業者として営業活動を開始。
- ✓ 2021年2月にグループ会社の「トレード・サイエンス株式会社」を完全子会社化。

◆ 2022年3月期 第1四半期決算の概要（連結ベース）

- ✓ 預り資産残高※は前年同期比**48.1%増の3,211億円**となり、この内、IFA部門の預り資産残高は前年同期比**157.6%増の1,677億円**と、約2.6倍に大幅増加し、全社、IFA部門ともに過去最高の預り資産残高となった。また、契約仲介業者外務員数も前年同期比+313名の849名と大幅に増加した。
- ✓ 営業収益は前年同期比**48.4%増の3,046百万円**と、約1.5倍の大幅な増収となった。戦略的に推進しているIFAビジネスにおいて、契約仲介業者外務員数、及び預り資産残高が大幅に増加したことに伴い、営業収益も順調に増加した。
- ✓ 一方で、販売費・一般管理費は前年同期比**55.8%増の2,851百万円**となった。この内、IFAへの支払報酬など収益に連動して増減する変動費が2,084百万円と大半を占め、固定費は767百万円と前年同期比148百万円の増加に留まった。固定費はIFA部門の預り資産残高拡大のため、様々なキャンペーンを積極的に拡充したことや、将来的な業務拡大に備えた人員の拡大などにより増加したものの、販管費に占める変動費率は73%と高水準を維持しており、安定的な経営構造となっている。
- ✓ 営業利益は前年同期比**12.4%減の186百万円**、投資ファンドの利益等を計上し経常利益は前年同期比**5.0%減の201百万円**、当期純利益は前年同期比**2.0%減の142百万円**となった。

※ 預り資産残高は、当社の預り資産残高と、子会社のジャパンウェルズアドバイザーズ株式会社の提携金融機関における管理資産残高の合計となっております。

2. 2022年3月期 第1四半期決算（連結）について

◆ 営業損益の状況

- ✓ 当社100%子会社の金融商品仲介業者であるジャパンウェルスアドバイザーズ株式会社、トレード・サイエンス株式会社を含む連結ベースでは、営業収益3,046百万円（前年同期比+993百万円 +48.4%）、営業利益186百万円（同△26百万円 △12.4%）、当期純利益142百万円（同△2百万円 △2.0%）となった。
- ✓ 営業収益は前年同期比で大幅な増収となったものの、IFAへの支払い報酬等の収益に連動する費用が増加したことや、業務拡大に伴う戦略的な投資（IFA向けのキャンペーン費用、人員の拡充など）などにより販管費が増加したことにより減益となった。

（単位：百万円）

	2021年 3月期1Q	2022年 3月期1Q	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
営業収益	2,053	3,046	48.4%	993
純営業収益	2,043	3,038	48.7%	994
販売費・ 一般管理費	1,830	2,851	55.8%	1,020
営業利益	213	186	△12.4%	△26
経常利益	211	201	△5.0%	△10
特別損益	-	△3	-	△3
税引前当期純利益	211	197	△6.8%	△14
法人税等合計	65	54	△17.4%	△11
当期純利益	145	142	△2.0%	△2

（単位：百万円）

2021年3月期				2022年3月期
第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期
2,053	2,901	3,316	4,112	3,046
2,043	2,891	3,304	4,099	3,038
1,830	2,487	2,856	3,622	2,851
213	404	448	476	186
211	408	455	484	201
-	△2	-	△2	△3
211	405	455	482	197
65	131	155	155	54
145	274	299	327	142

◆受入手数料の内訳

- ✓ 受入手数料は585百万円（前年同期比△23百万円 △3.8%）と、減収となった。
- ✓ 株券委託手数料は、377百万円（同△50百万円 △11.9%）と減収、募集・売出し手数料は、108百万円（同+25百万円 +31.0%）と増収となった。

（単位：百万円）

	2021年 3月期1Q	2022年 3月期1Q	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
受入手数料	609	585	△3.8%	△23

委託手数料の主な内訳				
株券	428	377	△11.9%	△50

募集・売出し手数料の主な内訳				
債券	60	63	6.3%	3
投資信託	23	44	93.0%	21

その他の受入手数料				
信託報酬	19	30	51.9%	10
アドバイザー報酬	17	0	△100.0%	△17

（単位：百万円）

2021年3月期				2022年3月期
第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期
609	574	561	632	585

428	378	436	482	377
-----	-----	-----	-----	-----

60	0	0	0	63
23	29	51	64	44

19	21	22	25	30
17	0	0	0	0

◆トレーディング損益の内訳

- ✓ トレーディング損益は、2,446百万円（前年同期比+1,019百万円 +71.4%）と約1.7倍の増収となった。金融商品仲介業の業務拡大により債券等の販売高が49,270百万円（同+78.1%）と大幅に増加したことで、債券トレーディング損益が2,360百万円（同+1,028百万円 +77.3%）となった。

(単位：百万円)

	2021年 3月期1Q	2022年 3月期1Q	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
株式	95	86	△9.7%	△9
債券・為替等	1,331	2,360	77.3%	1,028
（債券等）	1,314	2,315	76.2%	1,001
（為替等）	17	44	162.6%	27
合計	1,427	2,446	71.4%	1,019

(単位：百万円)

2021年3月期				2022年3月期
第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期
95	131	67	98	86
1,331	2,175	2,671	3,366	2,360
1,314	2,161	2,663	3,322	2,315
17	14	7	44	44
1,427	2,306	2,738	3,465	2,446

◆部門別営業収益推移

【リテール部門】

- ✓ 部門収益は607百万円(前年同期比△85百万円 △12.4%)と減収となった。内訳として、国内株式委託手数料が42百万円(同△22.8%)の減収、債券トレーディング損益は3百万円(同△1.8%)の減収、外国株式トレーディング損益は31百万円(同△39.9%)の減収であった。

【IFA部門】

- ✓ 金融商品仲介業の業務拡大に伴い、部門収益は2,388百万円(前年同期比+1,105百万円 +86.1%)と大幅増収。特に債券の販売高が前期22,195百万円から当期40,896百万円と18,701百万円増加したことで、債券トレーディング損益が2,082百万円(同+1,033百万円+94.9%)と大幅増収となった。

(単位：百万円)

	2021年 3月期1Q	2022年 3月期1Q	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
営業収益計	2,053	3,046	48.4%	993
リテール	693	607	△12.4%	△85
IFA	1,283	2,388	86.1%	1,105
その他	76	50	△34.4%	△26

(単位：百万円)

2021年3月期				2022年3月期
第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期
2,053	2,901	3,316	4,112	3,046
693	829	838	683	607
1,283	2,009	2,407	3,351	2,388
76	62	69	77	50

◆販売費・一般管理費

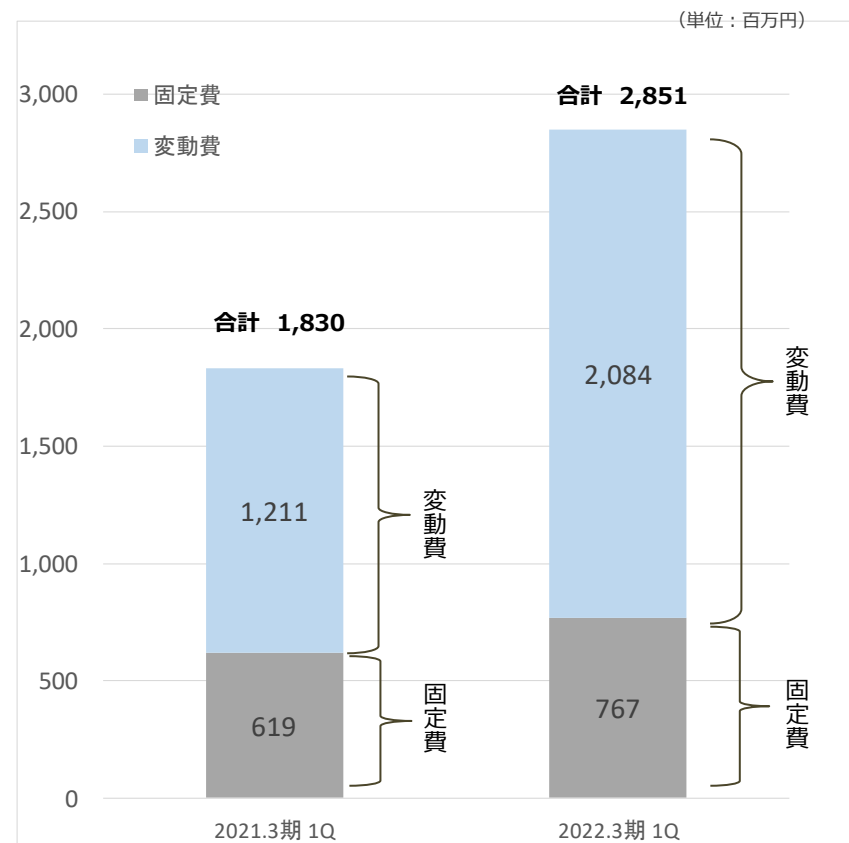
- ✓ 販管費は、2,851百万円（前年同期比+1,020百万円 +55.8%）と増加しているが、IFAへの支払報酬など、収益に連動して増減する変動費が872百万円（同+72.0%）増加したことが主な要因である。固定費については、将来的な業務拡大に備えた人員の拡充や、認知度向上のための広告戦略の強化等により148百万円（同+23.9%）の増加となった。

（単位：百万円）

	2021年 3月期1Q	2022年 3月期1Q	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
取引関係費	1,065	1,865	75.0%	799
人件費	515	691	34.1%	175
不動産関係費	85	95	10.8%	9
事務費	121	143	18.1%	21
減価償却費	13	19	46.9%	6
租税公課	16	14	△12.0%	△2
雑費その他	11	21	83.9%	9
販売費・一般管理費計	1,830	2,851	55.8%	1,020

（単位：百万円）

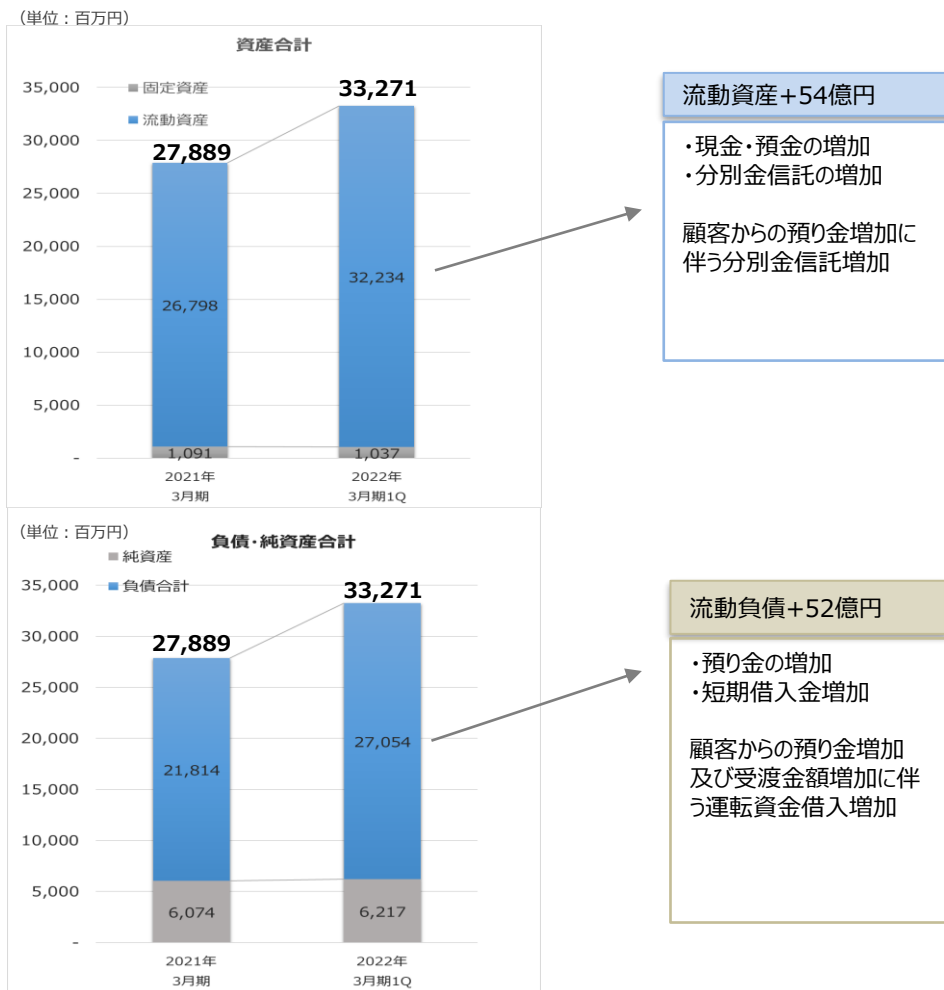
	2021年 3月期1Q	2022年 3月期1Q	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
固定費	619	767	23.9%	148
変動費	1,211	2,084	72.0%	872



※ その他：減価償却費、営業資料費、租税公課等

◆貸借対照表及び財務の状況

貸借対照表



財務の状況

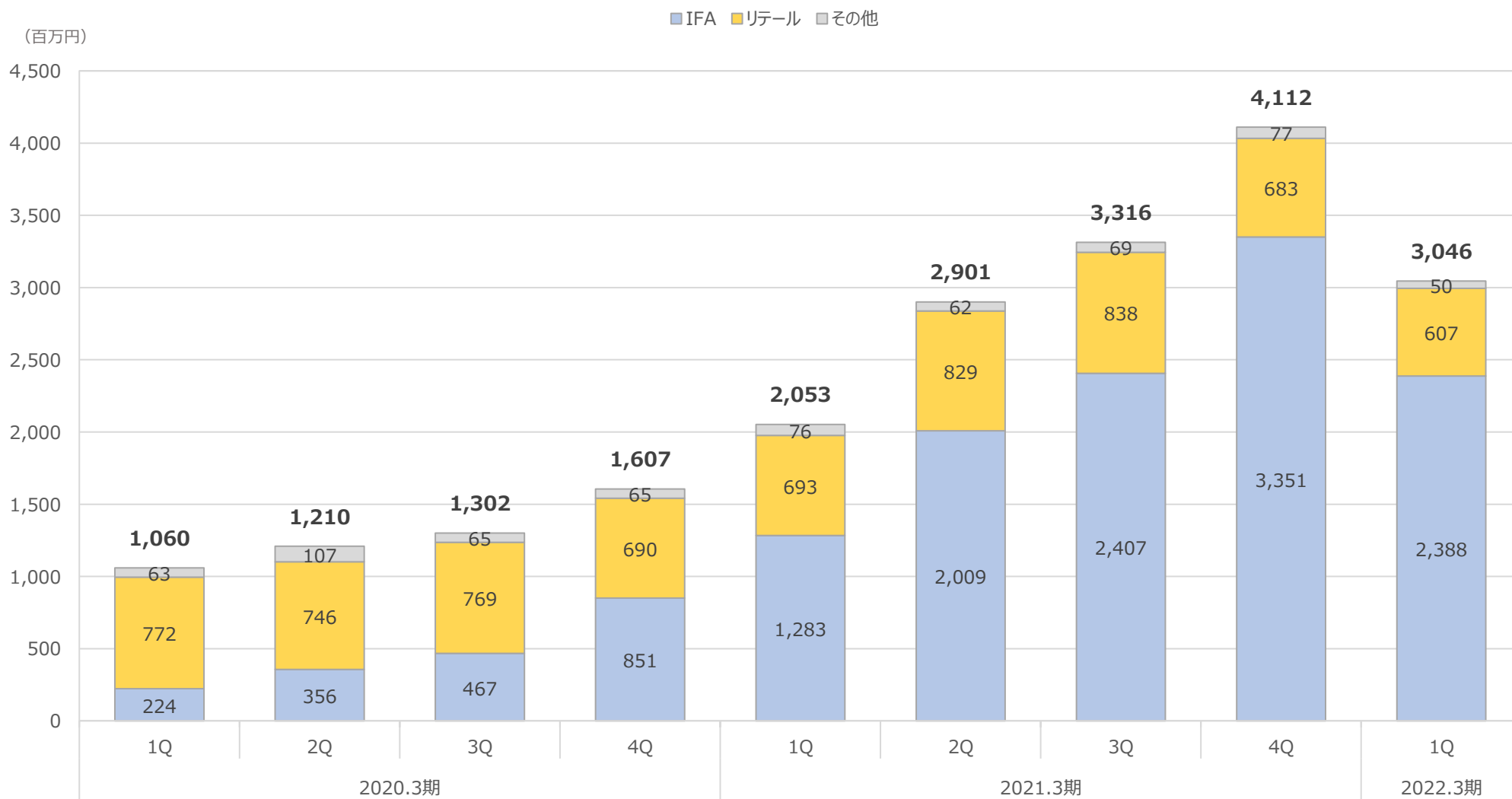
	2021年3月期	2022年3月期1Q	前期比増減
自己資本比率 (%)	21.7%	18.7%	△3.1%
1株あたり純資産 (円)	153.55円	157.17円	3.62円
自己資本規制比率 (%)	479.2%	457.0%	△22.2%

	2021年3月期1Q	2022年3月期1Q	前年同期比増減
1株あたり純利益 (円)	3.69	3.62	△ 0.07

3. 業績の推移について

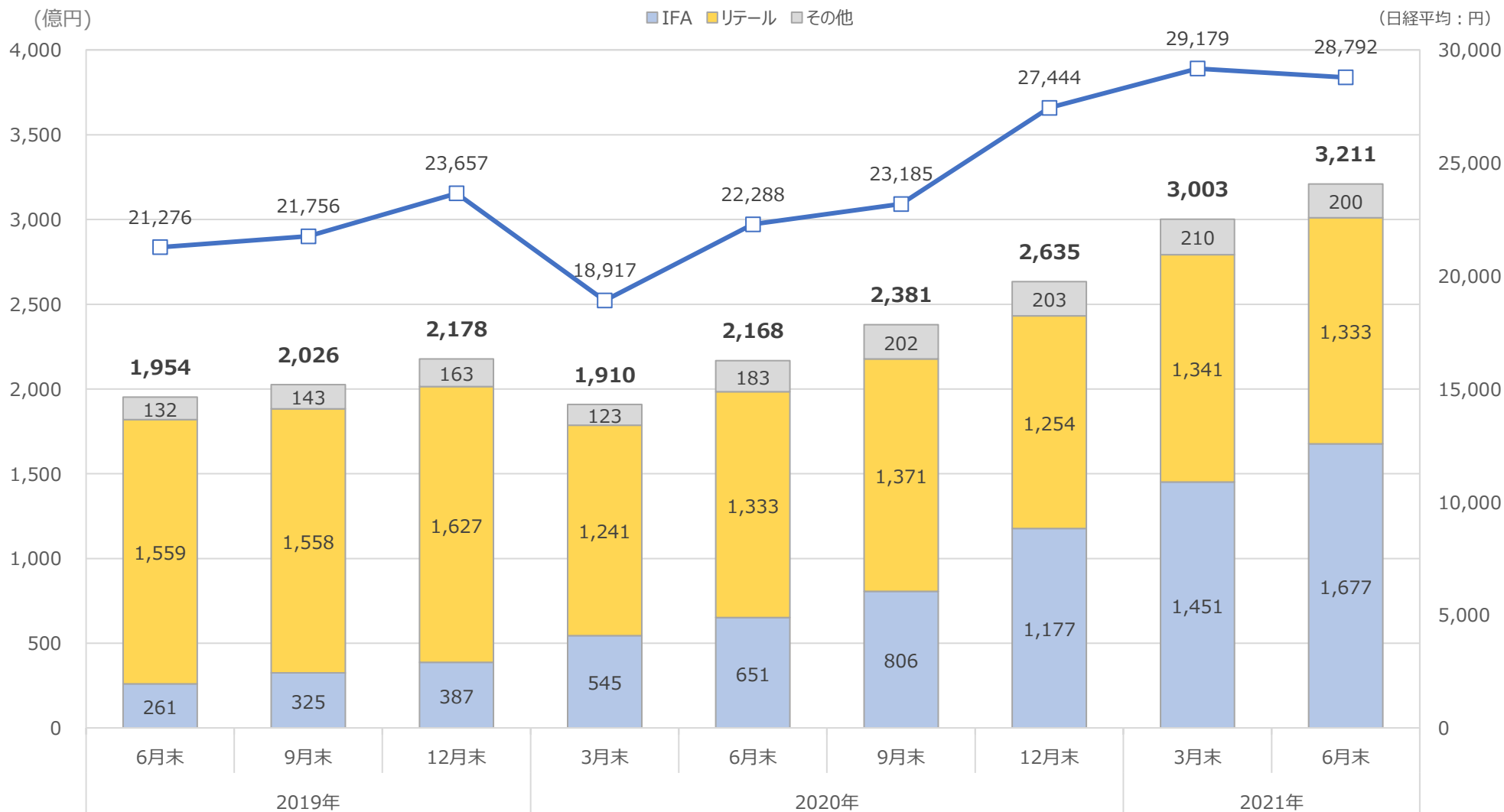
◆ 営業収益の推移（部門別）

✓ 当第1四半期における当社の営業収益は3,046百万円となり、マーケット環境が好調であった2021年3月期第4四半期に比べ減収となった。



◆ 預り資産残高の推移 (部門別)

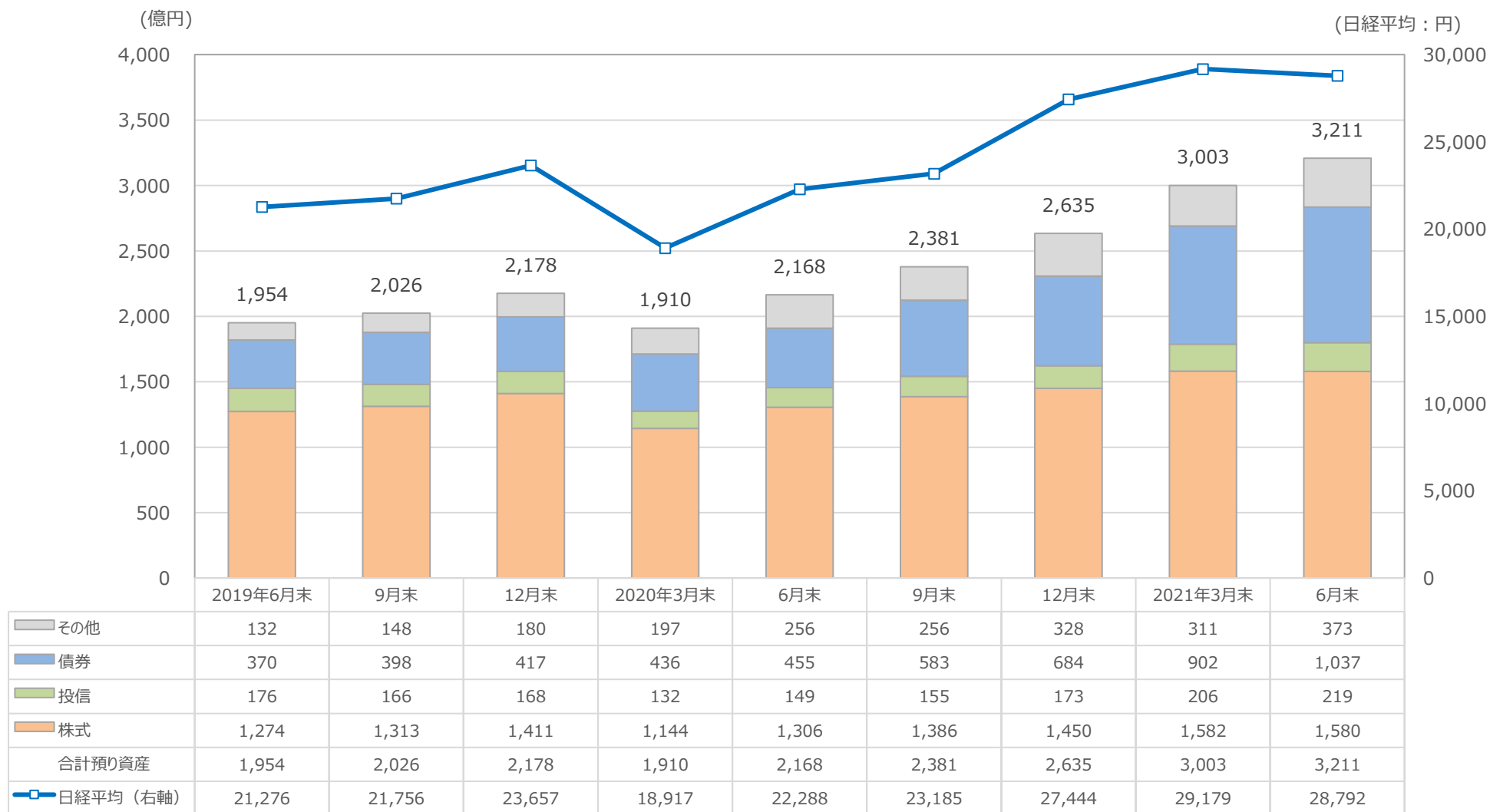
✓ 2021年6月末の当社の預り資産残高※は3,211億円、内、IFA部門は1,677億円となり、いずれも過去最高の預り資産残高を更新。



※預り資産残高は、当社の預り資産残高と、子会社のジャパンウェルズアドバイザーズ株式会社の提携金融機関における管理資産残高の合計となっております。

◆ 預り資産残高の推移（商品別）

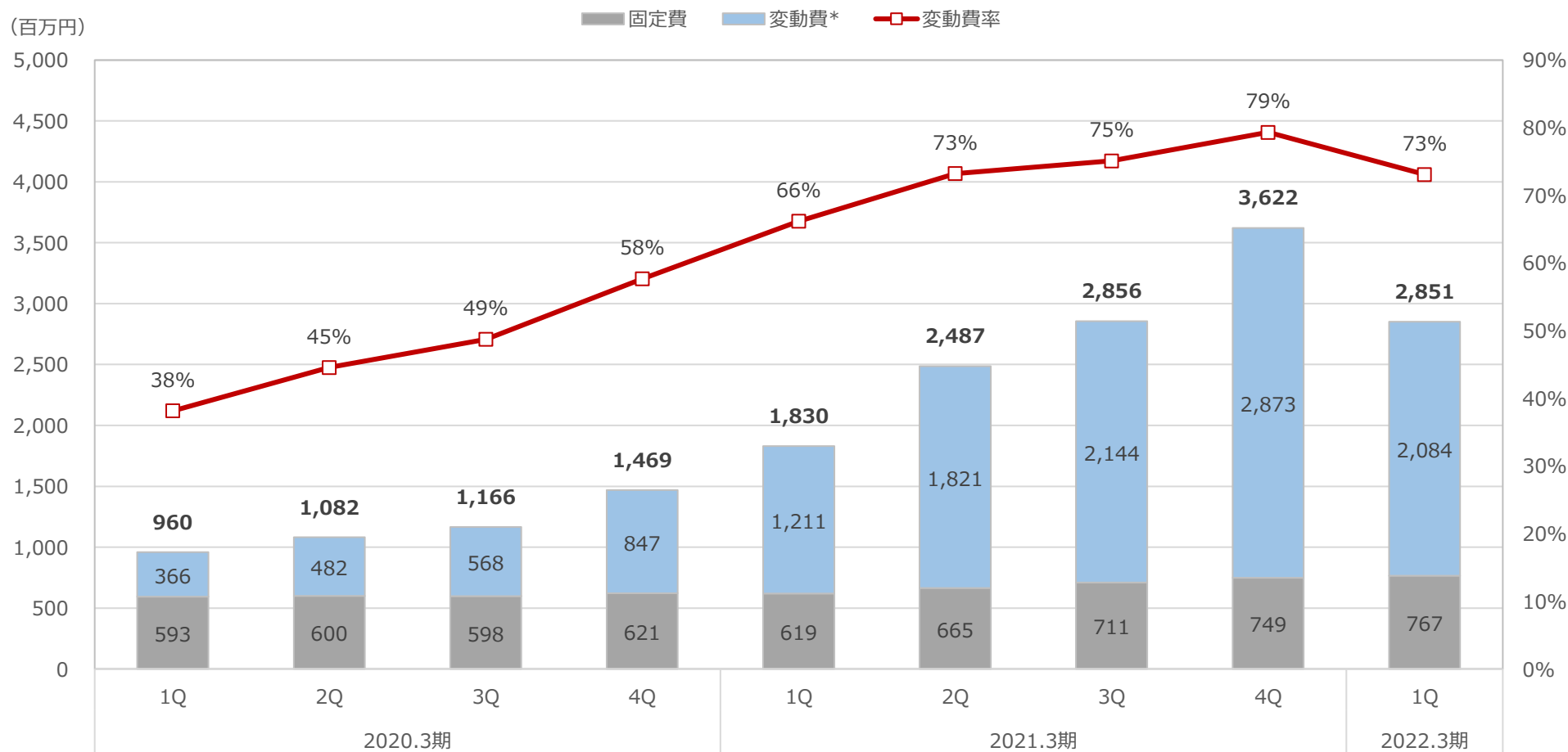
✓ 商品別の預り資産残高※では、IFACビジネスの拡大に伴い債券の比率が増加。



※預り資産残高は、当社の預り資産残高と、子会社のジャパンウェルズアドバイザーズ株式会社の提携金融機関における管理資産残高の合計となっております。

◆ 販管費及び変動費率の推移

- ✓ 当第1四半期における当社の販管費は2,851百万円となり、2021年3月期第4四半期と比べ、IFAへの支払報酬等の収益に連動する変動費※が減少したものの、販管費に占める変動費率は73%と高水準を維持しており、安定的な経営構造となっている。

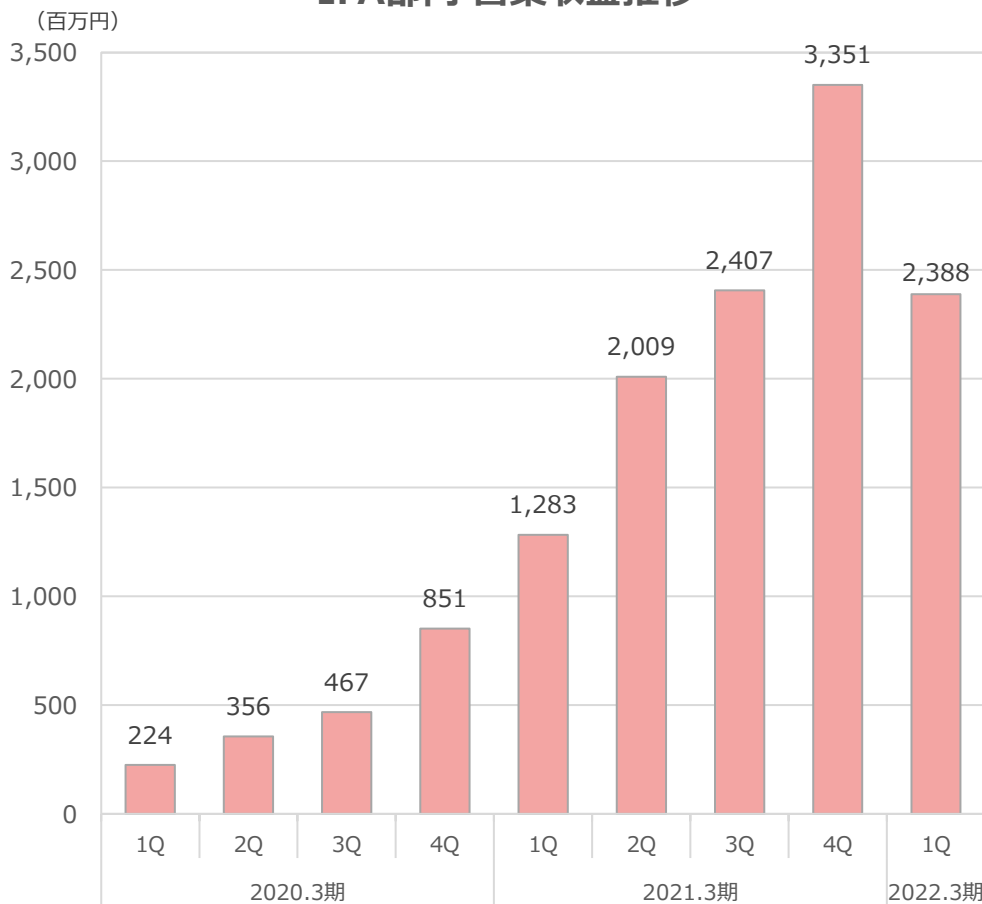


※変動費 = 人件費（賞与等収益連動分）・仲介業者への支払い報酬・システムコスト（収益連動）

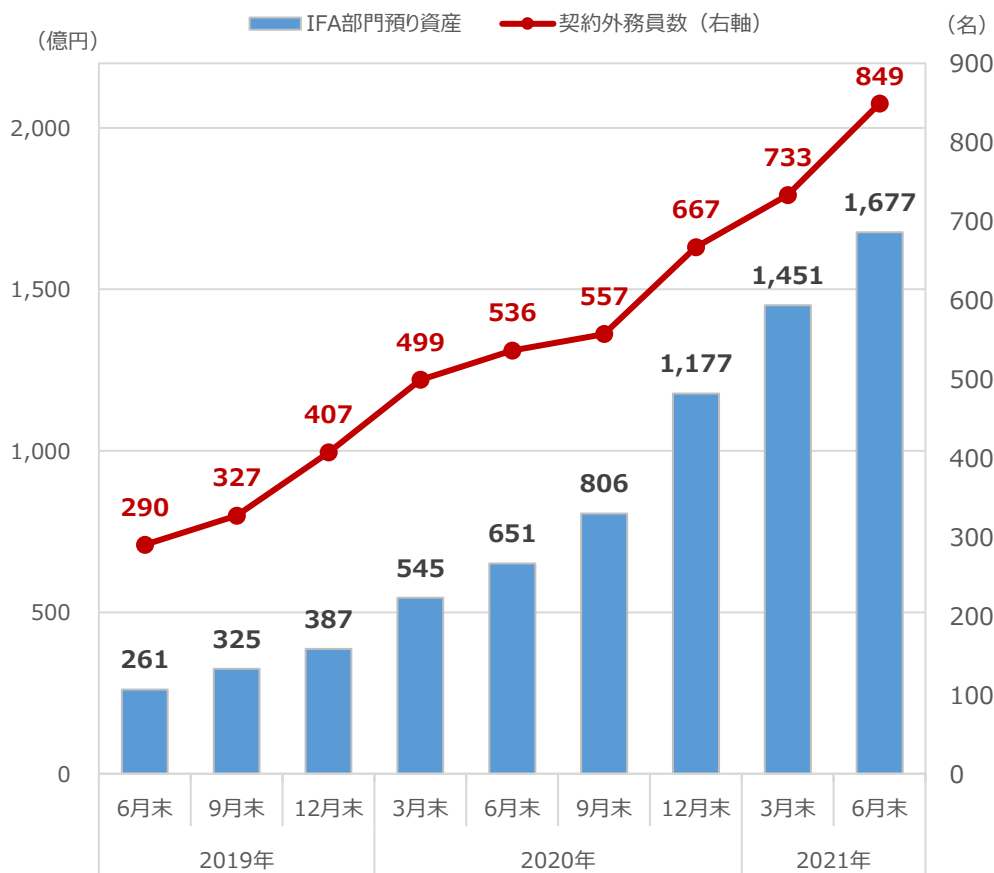
◆金融商品仲介（IFA）ビジネスについて

- ✓ 当第1四半期のIFA部門の営業収益は2,388百万円となっており、マーケット環境が好調であった2021年3月期第4四半期からは減収となっているものの、契約仲介業者外務員数は849名、IFA部門預り資産残高※は1,677億円と順調に拡大している。

IFA部門 営業収益推移



IFA部門 預り資産残高・契約外務員数推移



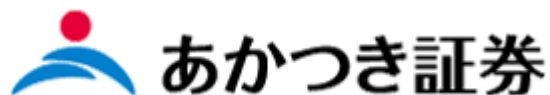
※預り資産残高は、当社の預り資産残高と、子会社のジャパンウェルズアドバイザーズ株式会社の提携金融機関における管理資産残高の合計となっております。

◆本資料に関して

本資料は、2022年3月期第1四半期決算の業績等に関する情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料は2021年6月末日現在のデータに基づいて作成されております。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。



本 社：東京都中央区日本橋小舟町8-1
商 号 等：あかつき証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第67号
加入協会：日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

お問い合わせ先：あかつき証券株式会社 財務経理部
TEL：03-5641-7800
URL：<https://akatsuki-sc.com>